

令和6年度揖斐郡教育研究実践論文にかかわる日程

本日 3月13日(水) R6郡教育研究実践論文執筆者講習会
6月 岐大論文募集要項発表→正式な令和6年度揖斐郡実践論文募集要項を送付 実践論文の正式な応募
応募票の提出・・・取り組む教科・領域、テーマの報告

実践論文提出×切 令和6年11月20日(水)

一次審査 令和6年11月28日(木)

二次審査 令和6年12月 3日(火)

実践論文の入賞者は12月中に発表→優秀賞受賞者は1月23日の揖斐郡教育会研修総会でプレゼン・シンポジウム発表

揖斐郡教育会研修総会

令和7年1月23日（木）

①優秀賞受賞者によるプレゼン発表・シンポジウム発表 （リアルタイムオンラインで）

※優秀賞受賞者の先生には二次審査会以降に校長先生を通じて発表の依頼をします。

②郡の優秀作品より岐大論文に優秀賞候補・新人賞候補の作品を応募

※新人賞に該当するのは教職経験6年以内 6年以内でも優秀賞候補で応募することがあります。

③優秀賞論文は本編を、入選・佳作の作品は概要を原則的に実践論文集の冊子及びセンターホームページの実践論文ライブラリーに掲載します。

あらかじめ、ご了解ください。

郡教育研究実践論文の様式（1）

- 1 論文は現代仮名遣いで書かれた日本語とし、MS明朝体で記述する。
(見出しは、MSゴシック体)論文の冒頭に「研究主題(副主題)、所属学校名、職名、著者名」を46字×5行以内・1段で書き、上下に二重線を引く。
- 2 編集のできるワード・エクセル等のデータで送付。PDFは不可(岐大論文、論文集の作成の際に校正等が必要になるため)、A4で6ページとする
- 3 1ページ目については、概要を46字×10行で述べ、枠線で囲む。
その中にキーワード（4から6語）を入れる。
1枚目の本文は22字×28行程度×2段で記載し、ページ全体で最大50行に収める。
概要の中のキー・ワードは太字で表記する。
- 4 2ページ目から6ページ目については、論文は、
A4版用紙 縦置き・横書きで1頁2段組
(22字×43行～50行×2段)とするが、6ページ
目の最後22字×11行は空白とする。
- 5 余白は、上下左右 各25mmとする。

R5度の要項をもとにしています。
詳しくは送付した<参考資料>様式をご覧ください。6月の二次募集の時に一部変更になる場合があります。

6月にR6の正式要項を送付します

郡教育研究実践実践論文の様式（2）

- 6 写真は、全6頁で2枚程度（大きさは、11文字×5行程度）
写真には写真1などと表し、簡単な説明を付ける。
- 7 図表は図1、表1などと表記し、全6頁で4点程度
（図表の大きさは、判読できる大きさ）

写真・図表は画像ソフトでリサイズして貼ってください。論文のサイズは2MG以下に
デジカメ・スマホ等で撮った写真を貼って縮めるのは×

- 8 揖斐郡の論文募集の際にも岐大論文に準じて、本編のみを提出し、それ
以外の資料は添付しない。 デジタルデータでメール送付（ページ数はいれない）
- 9 参考文献等がある場合は、論文の最後に、年代順で一括掲載する。
- 10 写真等は児童・生徒が特定されないよう留意する。
- 11 提出された論文は掲載承諾はとらせていただきますが、原則的に優秀賞の
場合は論文本編が、入選・佳作の場合は概要が実践論文集及びセンターホ
ームページ（PW付）に掲載されることを踏まえて記載してください。

実践論文の書き方(1) 研究主題の設定の仕方

研究主題の設定の仕方・・・6月の2次応募の時に参考に

①生活で生きて働く「伝え合う力」をもった生徒の育成

研究主題の前は研究の目的(ゴール)

～②目的意識・相手意識・方法意識・場の意識・評価意識を駆使する
言語活動を通して～

後半の～ ～(サブテーマ)の部分はゴールに至る方法や実践

できるだけ絞りこんで具体的に研究主題を立てる

主題設定の理由は論文のアピールポイントや価値を書く

研究仮説→ ②の方法をとれば、①の姿が生み出せる

研究内容→ ②のサブテーマの内容を具体的にした授業や指導での工夫や指導の柱

実践論文の書き方(2)・・・論文の骨子づくり

- 1 研究主題 (先ほどのスライドで説明済)
- 2 概要 (論文の論旨を**キーワード**を意識しながら簡潔にまとめる)
- 3 主題設定の理由 目指す姿と現実とのずれを埋めるためにこの研究主題を設定したということを書けばよい **自分の論文の値打ちを強くアピール**
- 4 研究仮説 ~ ~の中の方法をとることで、目指す姿が実現できる
- 5 研究内容 研究仮説にもとづき実践化するときの柱 (具体的な指導法や授業づくり、機材や教材の工夫等)
- 6 実践例 5の研究内容に基づき、行った実践の具体例
※児童・生徒の変容を明確にした評価を記載する
- 7 成果と課題 **成果をたくさん書く** **課題は改善の方向を示す**

郡教育研究実践論文の審査の観点



- 今日的な課題を踏まえて 目指す姿を明確 に設定してあるか
- 理論と実践が一体 となっているか
- 評価が的確 になされ、児童生徒の成長や変容 が明確であるか
- 説得力 があり、分かりやすい か

詳しくは資料P7 「令和6年度 郡教育実践論文 審査の観点」参照

最後に

実践論文を書く時の10のポイント

(実践論文にあるとよいもの)

- 1) 確かな教育信念や理論
- 2) 情熱・児童生徒への愛情
- 3) 指導の工夫の独創性
- 4) 教科・領域での専門性
- 5) シャープな切り口
- 6) 継続的な積み上げ
- 7) 理論と実践のつながり
- 8) 説得力・分かりやすさ
- 9) 児童・生徒の成長
- 10) アピールポイント